

黒部市民病院新改革プランの点検・評価  
(平成 28 年度実績)

平成 29 年 9 月

## 1. はじめに

黒部市は、平成 27 年 3 月に新たに総務省から示された「新公立病院改革ガイドライン」を受け、平成 29 年 3 月に「黒部市民病院新改革プラン」を策定しました。

この新改革プランの期間は平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間で、黒部市病院事業運営協議会の中で毎年、点検・評価・公表を行うことといたしました。

## 2. 評価方法

目標に対する評価を以下の区分で行いました。

区分	評価の内容
A	目標以上に達成されている
B	目標が達成されており一定の実績がある
C	目標が未達成で実績不足である

## 3. 点検・評価

平成 28 年度の点検・評価にあたり「地域医療構想を踏まえた当院の役割」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」については、プラン策定からの期間が短いため行わないことといたしました。

今回の点検・評価は、「医療機能等指標に係る数値目標」「経営指標に係る数値目標」について行いました。

次頁 黒部市民病院新改革プランの進捗状況及び評価①～④

黒部市民病院新改革プランの進捗状況及び評価(平成28年度)①

項目・区分等	最終目標 (32年度)	単位	目標設定の考え方	28年度		取り組みと実績及び課題等	自己評価																																
				目標	実績																																		
医療機能等指標に係る数値目標	紹介率	40.0	%	地域の医療機関との連携を進めるため、紹介率・逆紹介率の向上を目指す	34.0	33.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関や介護施設を院長が訪問し協力依頼を実施</li> <li>情報誌であるフレンドリーだよりやホームページを活用し当院の魅力を発信</li> <li>今後は、新川医療圏のみならず、糸魚川市を含む他の医療圏の医療機関への訪問も検討し、連携先の強化を図る</li> </ul>	B																															
	逆紹介率	30.0	%		23.0	24.8		B																															
	新入院患者数	8,650	人	基幹病院としての役割を担うための取組として、新入院患者数の増を目指す	8,410	8,388	<ul style="list-style-type: none"> <li>接遇改善プロジェクトチームを発足した</li> <li>今後は患者が入院したくなる病院を目指して医療提供体制の充実や維持、接遇面での改善を図る</li> </ul>	B																															
	初発がん受診患者数 注)数値の確定には2年を要するため変動有	600	人	がん診療連携拠点病院として初発がんの受診患者数の増を目指す	570	573	<ul style="list-style-type: none"> <li>増改築事業により旧外来棟3階にあったがん相談支援センターを1階に配置し運用を開始した。また、定期的ながん経験者とかん患者との相談会等を開催した</li> <li>今後は人間ドック受診者数の増や市と協力し健診者数の増を図る</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(件)</th> <th>診断のみ</th> <th>診断・治療</th> <th>他施設診断・治療</th> <th>計</th> <th>治療有計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>68</td> <td>526</td> <td>61</td> <td>655</td> <td>587</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>40</td> <td>504</td> <td>60</td> <td>604</td> <td>564</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>45</td> <td>500</td> <td>73</td> <td>618</td> <td>573</td> </tr> </tbody> </table>	(件)	診断のみ	診断・治療	他施設診断・治療	計	治療有計	平成26年度	68	526	61	655	587	平成27年度	40	504	60	604	564	平成28年度	45	500	73	618	573	B							
	(件)	診断のみ	診断・治療	他施設診断・治療	計	治療有計																																	
	平成26年度	68	526	61	655	587																																	
平成27年度	40	504	60	604	564																																		
平成28年度	45	500	73	618	573																																		
内視鏡手術件数 注)内視鏡センター施行分除く	900	件	高度な医療の提供状況の把握として、内視鏡手術件数の増を目指す	800	736	<ul style="list-style-type: none"> <li>28年度に泌尿器科の内視鏡器機を新規で購入し、新しい治療を始めた</li> <li>29年度中に外科の腹腔鏡システムを更新予定。手術件数の増につなげたい</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(件)</th> <th>外科</th> <th>整形外科</th> <th>産婦人科</th> <th>泌尿器科</th> <th>耳鼻科</th> <th>呼吸器外科</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>114</td> <td>164</td> <td>117</td> <td>106</td> <td>34</td> <td>0</td> <td>535</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>111</td> <td>190</td> <td>155</td> <td>167</td> <td>66</td> <td>31</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>134</td> <td>141</td> <td>144</td> <td>211</td> <td>79</td> <td>27</td> <td>736</td> </tr> </tbody> </table>	(件)	外科	整形外科	産婦人科	泌尿器科	耳鼻科	呼吸器外科	計	平成26年度	114	164	117	106	34	0	535	平成27年度	111	190	155	167	66	31	720	平成28年度	134	141	144	211	79	27	736	B
(件)	外科	整形外科	産婦人科	泌尿器科	耳鼻科	呼吸器外科	計																																
平成26年度	114	164	117	106	34	0	535																																
平成27年度	111	190	155	167	66	31	720																																
平成28年度	134	141	144	211	79	27	736																																
救急患者に占める入院患者の割合	20.0	%	救急の適正な利用状況の把握のため入院患者数の割合を一定以上に保つ	18.0	17.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月から11月には割合が20%となったが、12月から2月までは13~16%と低くなった</li> <li>冬季は、インフルエンザ等の感染症患者の受診が多くなったことで入院患者の割合が減少した</li> </ul>	B																																

自己評価 : 達成状況評価 A→目標以上、B→一定の実績、C→実績不足

黒部市民病院新改革プランの進捗状況及び評価(平成28年度)②

項目・区分等	最終年度 (32年度)	単位	目標設定の考え方	28年度		取組	実績	課題	自己評価	黒字病院平均																										
				目標	実績					H26	H27																									
経営指標に係る数値目標 1 / 3	経常収支比率	96.7	%	経常収支比率は100%を超えると黒字病院、医業収支比率は100%以上であれば利益を上げているといえる指標。改革プラン期間中は多額の減価償却費の影響により、100%以上とするのは困難であり100%超えを目標としない	97.3	98.5	【7対1入院基本料の算定を目指す】 ・看護師の確保 ・外部コンサルティングを活用した看護必要度の向上	・12月から7対1入院基本料の算定開始 ・入院収益が向上	・7対1体制の継続 ・病床機能再編の検討	B	103.4	103.1																								
	医業収支比率	95.0	%		96.4	98.9	<table border="1"> <caption>経営指標の推移 (平成24年度～平成28年度)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>経常収支比率</th> <th>医業収支比率</th> <th>減価償却費を除く医業収支比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>100.2%</td> <td>100.5%</td> <td>108.7%</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>99.3%</td> <td>99.3%</td> <td>109.0%</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>100.0%</td> <td>100.8%</td> <td>110.6%</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>98.7%</td> <td>100.0%</td> <td>107.4%</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>98.5%</td> <td>98.9%</td> <td>107.9%</td> </tr> </tbody> </table>			年度	経常収支比率	医業収支比率	減価償却費を除く医業収支比率	平成24年度	100.2%	100.5%	108.7%	平成25年度	99.3%	99.3%	109.0%	平成26年度	100.0%	100.8%	110.6%	平成27年度	98.7%	100.0%	107.4%	平成28年度	98.5%	98.9%	107.9%	B	98.1	97.5
	年度	経常収支比率	医業収支比率		減価償却費を除く医業収支比率																															
	平成24年度	100.2%	100.5%	108.7%																																
	平成25年度	99.3%	99.3%	109.0%																																
	平成26年度	100.0%	100.8%	110.6%																																
平成27年度	98.7%	100.0%	107.4%																																	
平成28年度	98.5%	98.9%	107.9%																																	
減価償却費を除いた医業収支比率	106.5	%	上記2つの指標には減価償却費が含まれるため、これを除いて106%以上を保ち将来の黒字化につなげることを目標とする	105.4	107.9				B	105.5	104.6																									
給与費対医業収益比率	53.5	%	病院の職員数が適正かどうかを判断する指標。看護師等の人員増の計画もあるが、当院では退職手当負担金を除き最終的に51%以下に抑える	53.7	52.4	・4月に看護師を21名増員	・人員増などにより対前年給与費65,391千円増 ・医業収益の増加により比率は前年と同率	・29年度から給食調理部門を直営化 ・プランでは想定してなかった給与費の増だが目標内に抑制	A																											
退職手当負担金を除いた給与費対医業収益比率	50.8	%		50.0	48.5	<table border="1"> <caption>給与費対医業収益比率の推移 (平成24年度～平成28年度)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>黒字病院</th> <th>当院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>50.4%</td> <td>48.0%</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>50.5%</td> <td>48.4%</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>51.7%</td> <td>46.9%</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>50.1%</td> <td>48.4%</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td></td> <td>48.5%</td> </tr> </tbody> </table>			年度	黒字病院	当院	平成24年度	50.4%	48.0%	平成25年度	50.5%	48.4%	平成26年度	51.7%	46.9%	平成27年度	50.1%	48.4%	平成28年度		48.5%	A	51.7	50.1							
年度	黒字病院	当院																																		
平成24年度	50.4%	48.0%																																		
平成25年度	50.5%	48.4%																																		
平成26年度	51.7%	46.9%																																		
平成27年度	50.1%	48.4%																																		
平成28年度		48.5%																																		
材料費対医業収益比率	25.3	%	医業収益に対する材料費の割合を示す指標。平成26年度の黒字病院平均以下を目標とする	26.5	26.5	・材料ごとの価格交渉 ・全国的なベンチマークの活用	・対前年 価格交渉値引効果 薬品1.2%削減(約18,000千円) 診療材料1.3%削減(約16,000千円)	・がん治療薬等の高額な新薬の処方増加により目標の見直し25.3%→27.0%	B	25.3	27.0																									

自己評価：達成状況評価 A→目標以上、B→一定の実績、C→実績不足

黒部市民病院新改革プランの進捗状況及び評価(平成28年度)③

項目・区分等	最終年度 (32年度)	単位	目標設定の考え方	28年度		取組	実績	課題	自己評価	黒字病院平均		
				目標	実績					H26	H27	
経営指標に係る数値目標 2 / 3	院外処方箋発行率	85	%	薬剤師の人員確保が困難な中、薬剤師の入院患者関係業務への比重拡大のため院外処方箋発行率の増を目指す	78.0	77.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来、院内処方だった透析患者に対し院外処方のメリットを説明</li> <li>医師に院外処方の必要性を周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対前年0.6%改善</li> <li>院内処方であった透析患者のうち13名の方が院外処方に移行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>院外処方箋発行率向上の必要性を職員の共通認識へ</li> <li>院外処方箋のメリットの啓蒙</li> </ul>	B	県内自治体病院平均 82.9	86.4
	一日当たり外来患者数	840	人	他の医療機関との機能分化・医療連携を進め外来患者数の減を目指す	870	859	<ul style="list-style-type: none"> <li>逆紹介の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対前年 一日当たり外来患者数 脳神経外科 △ 9.8人 整形外科 △ 7.9人 内科 △ 5.3人 他 計 △38.4人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更なる逆紹介件数増のため、他の医療圏の医療機関と連携推進</li> </ul>	B	859	889
	一日当たり入院患者数 (一般のみ / 405床)	340	人	現在の看護体制・看護師数では一日当たり入院患者数の上限は345人程度となる。この値により近い数値を目標とする	338	336	<ul style="list-style-type: none"> <li>【患者確保対策】</li> <li>・広報誌による他の医療機関へのPR</li> <li>・医師派遣要請(大学)</li> <li>【入院期間適正化対策】</li> <li>・地域医療連携室社会福祉士による積極的な退院支援の実施</li> <li>・クリニカルパス見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対前年 一日当たり入院患者数 △ 4人 病床利用率 △1.1% 平均在院日数 △0.3日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【患者確保対策】</li> <li>・他の医療機関への訪問</li> <li>・医師派遣要請の継続(大学)</li> <li>【入院期間適正化対策】</li> <li>・社会福祉士による更なる退院支援の実施</li> <li>・疾患毎ベンチマークによるクリニカルパス見直し</li> </ul>	B	350人 / 427床	363人 / 432床
	病床利用率 (一般のみ / 405床)	84.0	%				83.5	82.8		B	81.9% / 427床	82.9% / 432床
	平均在院日数 (一般のみ / 405床)	13.4	日				13.8	13.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な入院期間の推進により在院日数の短縮を目指す</li> </ul>	A	12.4日 / 427床	11.9日 / 432床
	一日当たり外来単価	17,000	円	症状の安定した患者を地域の医療機関に逆紹介することにより単価増を目指す	16,100	16,306	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな施設基準の取得</li> <li>・職員間の診療報酬請求に関する知識の共有(外来及び入院)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対前年 744円増 (15,562円→16,306円)</li> <li>施設基準の届出による増収額 院内トリアージ実施料 112千円 下肢末梢動脈疾患指導管理加算 1,425千円</li> <li>高額な注射薬処方による増収額 74,632千円</li> <li>医師、コメディカル、事務による診療報酬勉強会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな施設基準届出の検討</li> </ul>	B	14,577円	16,510円
	一日当たり入院単価	47,500	円	新たな施設基準の取得、紹介・逆紹介の推進により入院単価増を目指す	45,500	45,638	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな施設基準の取得</li> <li>7対1入院基本料 退院支援加算1 看護職員夜間配置加算 認知症ケア加算2 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対前年2,022円増 (43,616円→45,638円)</li> <li>施設基準届出 49件</li> <li>施設基準の届出による増収額 7対1入院基本料 73,868千円 退院支援加算 1 5,100千円 看護職員夜間配置加算 2,269千円 認知症ケア加算 等 3,474千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7対1入院基本料等施設基準の維持</li> <li>・新たな施設基準の届出の検討</li> <li>・外部コンサルティングを活用したDPC係数増</li> </ul>	B	57,787円	57,483円

自己評価 : 達成状況評価 A→目標以上、B→一定の実績、C→実績不足

黒部市民病院新改革プランの進捗状況及び評価(平成28年度)④

項目・区分等	最終年度 (32年度)	単位	目標設定の考え方	28年度		取組	実績	課題	自己評価	黒字病院平均	
				目標	実績					H26	H27
経営指標に係る数値目標 3/3	72	人	神経内科医もしくは精神科医、呼吸器内科医等常勤医が1人の診療科の複数人態勢を目標とする	69	69	・金沢大学及び富山大学の医局訪問 ・常勤医1人診療科における複数人態勢への要望	・年度末 医師数69名 ・神経内科、精神科、呼吸器内科等の増員なし。 ・H28年度末 眼科医(金沢大学)退職、補充なし→富山大学医局からの派遣へ切替(H29.4～) ・H28年度末 呼吸器外科(富山大学)退職→診療応援(H29.4～)	・診療ニーズの高い神経内科、精神科等増員を継続要望 ・関連大学医局との密な情報交換及び連携強化	B	79人	81人
	330	人	7対1看護体制の維持のため、人員増を図る	320	319	・県内・近隣県の看護学校訪問 ・看護学生向け病院見学会の実施 ・看護部スマートフォン対応ページの開設・充実 ・ライフステージに合わせた働き方の提案や支援制度の周知	・28年4月 21名増、年度末319名 ・28年12月～7対1看護体制の整備	・産休・育休・介護などライフステージに合わせた多様な働き方の提案 ・ワークライフバランス推進を目指した更なる人材確保	B	363人	370人
	7.9	%	一般会計において負担すべき経費について繰り入れて比率のアップを図る	5.4	5.4	・一般会計が負担すべき経費とされるものについて繰り出しを要望  一般会計繰入金繰入額	・協議のうえ、前年度に比べ92,149千円の繰り入れ増	・今後も市と協議して繰入額の増額を要望	B	9.4%	11.0%
					他会計負担金	他会計出資金	繰入金合計				
				平成26年度	383,857千円	13,606千円	397,463千円				
				平成27年度	423,214千円	6,571千円	429,785千円				
				平成28年度	497,428千円	24,506千円	521,934千円				
現金保有残高	1,800	百万円	増改築事業等で借り入れた企業債の償還が徐々に始まり将来的に資金の減少が見込まれるが、キャッシュフロー残高は改革プラン期間中増加を図る	1,500	1,842 (3,221)	・予算の策定や執行において経費の削減や収益増が見込まれる事業に対する投資を推進	・7対1入院基本料の増収による現金増 (29年3月末の現金残高は32億円であったが、増改築事業の未払金を除くと実績の金額となる)	・改革プランの計画期間終了後、資金の減少が見込まれるため更なる残高の増を目指す	B		

自己評価：達成状況評価 A→目標以上、B→一定の実績、C→実績不足

#### 4. 病院事業運営協議会委員からのご意見

- 政策医療の担い手として（感染、周産期、災害、がん等）、県全体の連携、医療圏での連携、医療介護連携推進の働きを期待する
- 紹介率、逆紹介率をより高め地域医療支援病院を目指してほしい
- 物忘れ外来の開設を目指して医師確保の働きかけを継続してほしい
- 看護師確保のためのPR強化を継続してほしい